

別記様式第 6 号

**農林水産物・食品輸出促進緊急対策事業のうち
農畜産物の国際的に通用する規格・認証の創設、国際規格化事業
(我が国発の輸出用 G A P の国際規格化支援事業)
に関する事業評価票**

事業実施主体名	一般財団法人日本 G A P 協会																		
事業の概要	輸出用 GAP として開発した JGAP Advance について、国際規格化に向けた戦略等につき検討を行うとともに、国際規格化に向けて必要な手続き等の情報について、GFSI や既に GFSI に承認されている GAP のスキームオーナー等に対する調査を実施するほか、GFSI が主催する国際会議に出席し、GFSI 関係者の理解の促進に向けた取組を進める。 また、GFSI 承認を受けるために必要な書類等を作成し、承認申請を行う。 GFSI 承認と並び国際規格化に向けた重要な取組として、アジアでの普及活動を行う。																		
成果目標の 具体的内容	J G A P A d v a n c e の認証スキーム（青果物、穀物、茶）のうち、いずれか 1 つ以上について、G F S I などの国際的な承認を受けること																		
成果目標の 達成状況	輸出用 GAP として開発した JGAP Advance について、アジアにおける GAP 基準のプラットフォームとすることを目指し、ASIAGAP に改称するとともに GFSI から公表されたベンチマークと整合するように基準の内容を修正・追加を行い、平成 29 年 11 月に GFSI に承認申請を行った。 その後、GFSI との電話会議及び平成 30 年 3 月の事務所審査、平成 30 年 8 月のフォローアップ事務所審査を経て平成 30 年 10 月 31 日に ASIAGAP（青果物、穀物、茶）について、GFSI の承認を取得した。																		
総合評価	A : 計画以上の成果が見られる Ⓑ : 計画どおりの成果が見られる C : 計画どおりの成果が見られない																		
総合所見	ASIAGAP（青果物、穀物、茶の全ての項目）について、GFSI の承認を取得しており、成果目標は達成できたと評価できる。 また、ASIAGAP の認証数及び認証農場数の推移は次表のとおりであり、認証数及び認証農場数ともに毎年確実に増加しており、事業実施の効果が確実に表れていると評価できる。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th><th>認証数</th><th>認証農場数</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成 29 年 3 月末</td><td>52</td><td>583</td><td></td></tr> <tr> <td>平成 30 年 3 月末</td><td>189</td><td>1, 416</td><td></td></tr> <tr> <td>平成 31 年 3 月末</td><td>306</td><td>1, 872</td><td></td></tr> </tbody> </table>				認証数	認証農場数	備考	平成 29 年 3 月末	52	583		平成 30 年 3 月末	189	1, 416		平成 31 年 3 月末	306	1, 872	
	認証数	認証農場数	備考																
平成 29 年 3 月末	52	583																	
平成 30 年 3 月末	189	1, 416																	
平成 31 年 3 月末	306	1, 872																	